



■國武ゆかりさん(左)、井元智子さん
國武さんは、久留米10万人女子会の代表。ラボ会のサポートやさまざまなイベントの企画を行います。井元さんは金島校区ラボ会の参加者。他校区で開かれる同会の企画で司会に挑戦するそう。2人の手は、10万人女子会の「10」を表しています

4 絆を地域に、日常に。

進む取り組みから、地域共生社会実現の視点を考える

みんなで生きる みんなが活きる

10年後に10万人がつながる。100人女子会から

久留米10万人女子会は「久留米で暮らす13万人の女性。10年後に10万人がつながり、自分が望む暮らしができること」を目標に活動する団体です。久留米や近郊で暮らす女性が出会い、暮らしの充実や活動の可能性を広げる催し「久留米100人女子会」として平成28年にスタート。翌年には1000人女子会と規模を拡大し、毎年開催してきました。

平成30年に「久留米10万人女子会」となり、動きを大きく変化させました。校区単位の小さな女子会を市内全域に作り、月1回、約2時間自由に語り合う「ラボ会」を開始。絆づくりの場を日常に広げたのです。ラボ会に参加している井元さんは「地域に愛着を持つ人が減っていると思います。接点がなかった人とも、ラボ会で顔見知りになりました。今ではお互いに関わり合い、応援し合っています。こういうことを繰り返していると、気に掛け合う人が増え、地域への愛着につながる気がしています」と語ります。

仲良しグループで終わらない

令和2年は新たなチャレンジへ。「長年まちづくりを担ってきた校区コミュニティ組織との距離を縮めたい」という思いから、46の校区コミュニティ組織を訪れ、何に困っていて、どのようなニーズを持っているのかインタビュー調査を行いました。「目指したのは顔の見える関係づくりでした。会ううちにいろいろ教えてくれるようになって。何か一緒にできないかと自然に考えるようになっていました」と國武さん。こうして育んだ関係性から、校区と連携した田主丸バスツアーや城島での婚活イベントが実現。企画段階だけでなく、集客から当日の運営まで、校区の住民が手伝ってくれました。

「わたしの事はわたし達の事」。10万人女子会が大切にしている言葉です。いろんな団体や地域との連携で、共に久留米の未来を考え、話し合えることの大切さに改めて気付いたと國武さんは話します。つながりが、気付きや考え始めるきっかけをもたらしてくれたようです。

◎地域福祉課 (☎0942・30・9174、FAX 0942・30・9752)



平成29年に開催された1000人女子会。つながりづくりのきっかけに



北野校区の合同ラボ会。最近あったことなどを披露し、共感し合う和やかな時間です



下田校区「まちおこし隊会議」で協力を呼び掛ける國武さん

この事例はどれ?

地域共生社会の実現のために、13の取り組みの視点があります。掲載した取り組み事例がどれに当たるかを、黄色で示しました。

地域共生社会に向けた取り組み

13の視点

- ①つながりの構築
- ②見守り活動の推進
- ③誰もが集える場の拡充
- ④個別対応が必要な人への支援
- ⑤災害時要支援者への支援
- ⑥権利擁護の推進
- ⑦多機関連携の推進
- ⑧財源確保の推進
- ⑨地域における人材の育成
- ⑩コミュニティなどへの支援
- ⑪事業者などの地域貢献の促進
- ⑫福祉人材の養成と資質の向上
- ⑬福祉の理解を深める取り組み

市ホームページ「くるめ支え合うプラン」へ



詳しくはQRコード



岩崎さんの演奏を間近で感じる児童。場所によって音の聴こえ方が違うことを実感していました

プロの演奏で音楽と触れ合う 市内6小学校で岩崎侑奈さんの授業

世界で活躍するピアニスト、岩崎侑奈さんが、市内の小学校6校を訪れました。子ども頃からクラシック音楽に親しんでらうため、ピアノの演奏や児童との連弾をはじめとした、45分間の出前授業を開講。10月14日は江上小学校で音楽の魅力を伝えました。5年生の児玉翔さんは「生演奏を聴くことができて感動しました。音楽には人の心を動かす力があることが分かり、音楽に対する考え方が変わりました。また聴きたいです」と話しました。

自慢のユニーク串誕生 「殿さま串フェスタ」開催

10月7日、本庁舎で久留米焼きとり文化振興会が「殿さま串」の発表会を行いました。来年の有馬氏久留米入城400年を前に「殿さま」にちなんだ串のアイデアを募集。応募総数58点から18点が受賞し、エリンギでちょんまげを表したものでや玉ネギで甲冑を表したものなどユニークな串が並びました。14の加盟店で販売開始しています。永松雄一郎会長は「久留米焼きとりを盛り上げるために企画しました。皆さんに個性豊かな焼きとりを楽しんでもらいたい」と話しました。



参加した焼きとり店の皆さん。インスタグラムで食べ歩きフリーも企画

市政の動き

増築校舎が完成

昨年9月に始まった南小学校の増築工事が、約1年の工期を経て完了しました。同校は、児童数が1084人の大規模校です。児童数に対する、理科室や音楽室などが不足していたため、特別教室棟として増築しました。

増築校舎は、鉄筋コンクリート造3階建て、延べ床面積は1330㎡。グラウンド側に建設されました。1階に図書室、2階に音楽室、3階に理科室があります。本棚や読書スペースなども増え、子どもたちが落ち着いて本を読むことができます。



11月に引っ越しを行い、新しい校舎で授業が始まります

バイオ企業集積加速

福岡県と久留米市は、バイオ関連企業の集積を目指す「福岡バイオバレープロジェクト」を進めています。その拠点として久留米リサーチパークに「福岡バイオイノベーションセンター」を建設中です。最先端のバイオ技術に対応した分析装置などを備えた貸研究施設。来年4月の開設を目指し、入居する企業の公募が始まりました。



市ホームページ「福岡バイオバレープロジェクト」へ

詳しくはQRコード



5階建てで貸研究室、貸工場、オープンラボを備えています